

2 県央地域（諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町）

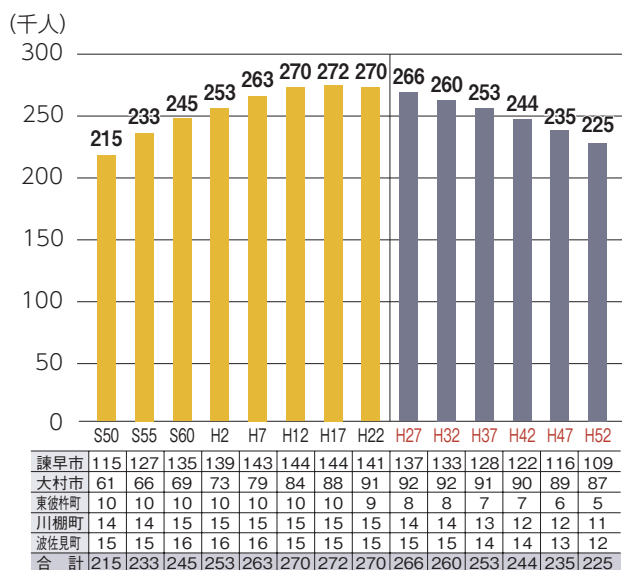
(1) 地域の特徴

- 本地域は、長崎県のほぼ中央に位置し、橘湾、大村湾、諫早湾と、それぞれ特性の異なる3つの海に囲まれ、多良岳県立公園や本県唯一の一級河川本明川など、豊かな自然環境に恵まれています。
- 空港、鉄道駅、高速道路のインターチェンジを擁し、県内及び県外地域を陸路・空路で結ぶ交通の要衝として重要な位置を占め、将来に大きな発展の可能性を秘めた地域です。
- 総生産額は、県全体の2割強、うち製造業は4割弱のシェアを占めており、複数の工業団地や伝統的な陶磁器産業があるなど、県内における製造業の一大集積地となっています。
- 農業については、耕地面積、販売農家戸数、農業従事者数とも県全体の2割を占め、水稻、麦、野菜、みかん、肉用牛、茶など多様な農業が営まれており、県内有数の農業が盛んな地域となっています。林業では、多良山系は林地生産力が高く、県内有数の木材生産地域となっています。
- 諫早湾干拓事業で造成された広大な農地では、野菜、花き、飼料作物等の大規模環境保全型農業が盛んに行われています。
- 水産業は、特性の異なる橘湾、大村湾、諫早湾の3つの湾で、カキ・アサリの養殖、小型底びき網漁業など特性を活かした漁業が行われています。

(2) 地域の課題

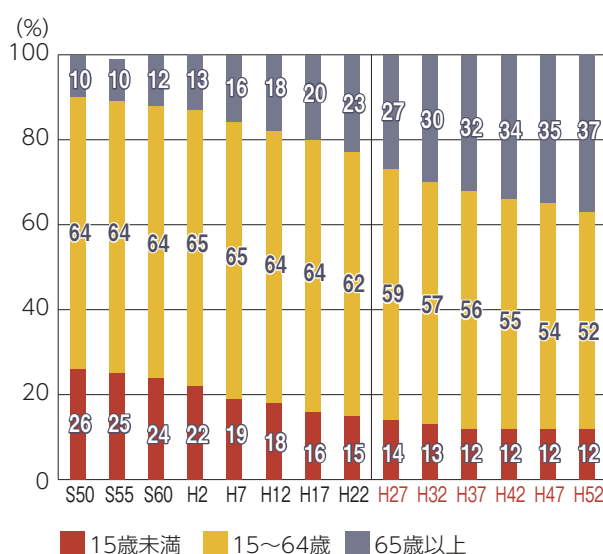
- 平成22年現在の本地域の人口は270千人とピークの平成17年と比べて5年間で約2千人、0.7%減少していますが、大村市はこの間も増加しており、県内で数少ない人口が増加している自治体です。しかし、今後は、大村市も減少に転じ、圏域全体で人口減少が進んでいくと同時に、高齢化も進んでいくと推計されています。
- 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）において、諫早駅、新大村駅（仮称）の2つの新幹線駅が計画されており、新幹線開業効果を最大限に引き出し、地域の活性化や交流人口拡大等に結びつけるには戦略的な取組が必要です。
- 諫早湾干拓調整池における水質保全対策が必要であるとともに、諫早湾干拓事業で造成された広大な干陸地や堤防道路等も含め、その特性を活かした地域資源としての利活用が求められています。
- 大村湾は、閉鎖性が強いいため底質・水質改善を進める必要がありますが、穏やかで景勝地も多いことから、地域資源としての活用が求められています。
- 本地域は、長崎市や雲仙・島原、佐世保・ハウステンボスなどへの観光の中継地点的な役割に留まっているため、豊かな自然や歴史・文化等の資源を有機的に活用した観光振興が求められています。
- モータリゼーションの進展による市街地の拡大に併せて、中心市街地の空洞化が著しくなっており、活性化に向けた取組が求められています。
- 本地域の経済活性化のためにも企業誘致を促進する必要がありますが、大型の企業立地に対応できる工業団地が不足しています。また、本地域の総生産額はここ10年でほぼ横這いの状況であり、製造業等の一層の振興が必要です。
- 貝類等の漁業不振が続く有明海については、原因究明のための総合的な調査研究を行うとともに、有明海再生に向けた抜本的な水産振興策が求められます。
- 農林業については、総生産額146億円で県全体の20%を占めていますが、就業者数は10年間で18%も減少しており、各産地を維持していくため担い手の確保・育成が課題となっています。
- 国道34号や57号、207号等の幹線道路では、慢性的な渋滞が発生しており、渋滞緩和策の早期対応が必要です。さらには、新幹線駅となる諫早駅、新大村駅（仮称）の交通結節機能の強化、長崎空港のゲートウェイ機能の強化、バスや鉄道の利便性の向上が求められています。
- 平成11年及び平成23年の浸水被害などの経験を踏まえ、治水対策としての本明川ダム建設や河川の改修を促進する必要があります。

■ 総人口の推移及び予測



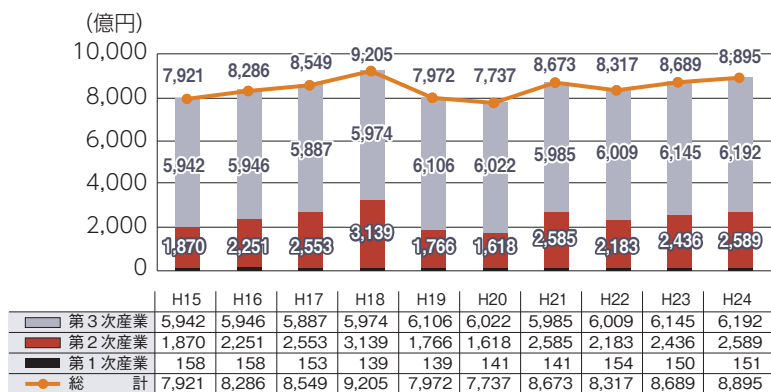
(出典) 国勢調査 日本の地域別将来推計人口

■ 年齢3区分人口比率の推移予測



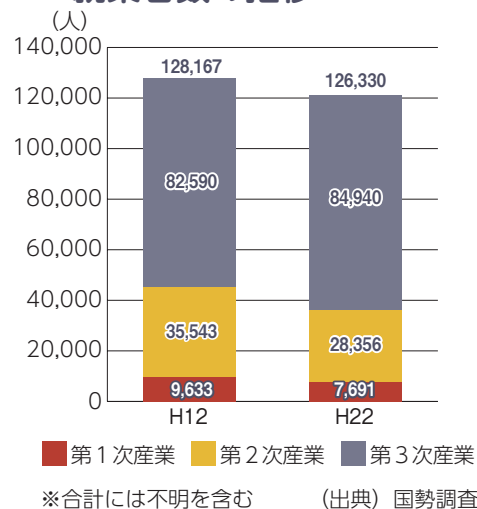
(出典) 国勢調査 日本の地域別将来推計人口

■ 総生産の推移



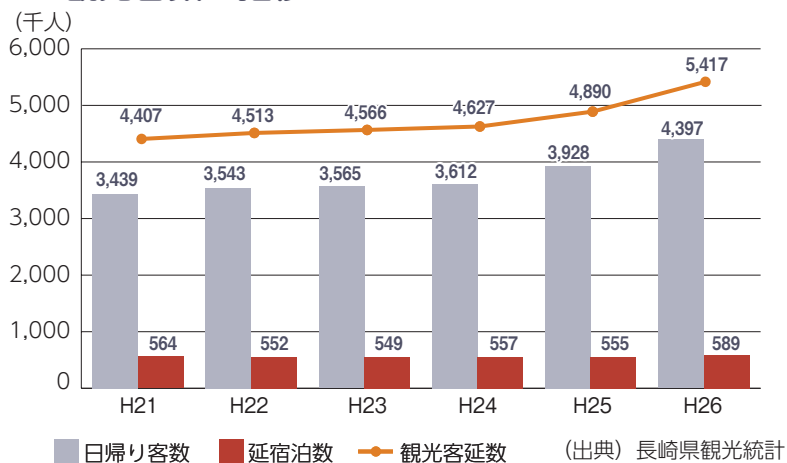
(出典) 長崎県市町民経済計算

■ 就業者数の推移



(出典) 国勢調査

■ 観光客数の推移



(出典) 長崎県観光統計

2 県央地域（諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町）

(3) 地域のめざす姿

新幹線開通でさらなる広域交通拠点として人やモノが行き交い、製造業、農業などの多様な産業が力強く発展し、豊かな自然や景観と調和したにぎわいあふれる地域

(4) 数値目標

指 標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
製造業従業者一人あたり付加価値額	1,243万円(H24)	1,305万円(H32)
観光客延べ数	541.7万人(H26)	595.8万人(H32)
新規自営就農者数	25人 (H22-H26平均)	48人/年 240人(H28-H32累計)

(5) 地域づくりの方向性

1 九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の開業に向けた県央の新しいまちづくり

主な取組

諫早駅、新大村駅(仮称)の2つの新幹線駅が計画されており、新幹線がもたらす効果を最大限に活用し、地域の活性化につなげます。諫早駅は、周辺整備の一環として実施する市街地再開発事業等による交通結節機能の強化や商業業務機能の集積、まちなか居住の促進を図り、交流人口の拡大や快適な都市空間づくりを目指します。また、諫早市と島原半島3市が連携した新幹線開業効果を活かしたまちづくりと地域公共交通活性化の取組を支援していきます。

取組例

- 諫早駅東地区第二種市街地再開発事業への支援
- 国道34号大村～諫早間の4車線化の事業化促進
- 島原道路整備推進
- 諫早駅へのアクセス向上として国道207号永昌交差点の整備推進
- 島原鉄道の施設設備への支援
- 路線バスの維持等への支援
- 長崎県南地域(諫早市・島原半島)における地域公共交通網形成計画等の策定・実施



島原道路（西諫早駅裏）



諫早駅再開発イメージ図

新大村駅(仮称)は、新幹線、空港、高速道路のインターチェンジが近距離に位置する広域交通拠点となるため、広域交通利便性を交流創出に活用した新大村駅(仮称)周辺整備等を推進します。また、日本初のフリーゲージトレインの車両基地が設置されることから、新たな観光資源としての活用や就業者の定住促進を図ります。

取組例

- 新大村駅(仮称)周辺土地区画整理事業への支援
- 国道34号大村～諫早間の4車線化の事業化促進
- 新大村駅(仮称)及び車両基地へのアクセス向上として都市計画道路池田沖田線竹松工区の整備推進
- 車両基地周辺整備に合わせた郡川の整備促進



都市計画道路池田沖田線竹松工区/バス 新大村駅(仮称)周辺整備イメージ図

2 県央の強みを活かした 力強い産業づくり

主な取組

多くの工業団地があり、製造業等の企業が集積していますが、さらなる企業誘致を推進するため、新たな工業団地の整備促進、誘致活動先の新規開拓や重点化に取り組みます。

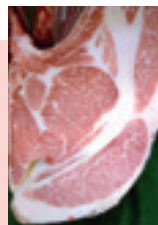
- 取組例
- 整備中及び計画中の工業団地の早期分譲開始に向けた着実な整備
 - 市町と連携した企業誘致活動の推進

製品の品質や生産効率の向上など生産現場における競争力強化、電子部品や自動車関連の企業による生産設備投資等への支援や、高度情報化社会に対応できる有能な人材の育成及び窯業における中核人材確保・育成対策等に取り組みます。

- 取組例
- 技術開発、人材育成、設備投資など、ものづくり企業の生産性向上につながる取組を支援
 - 情報処理技術者養成施設における専門技術者の育成
 - 窯業の中核人材育成のための研修制度の支援

農業については、新たな担い手確保につながる就農支援とともに、大規模化・省力化など産地に応じた生産基盤の整備に取り組み、平坦な穀倉地帯やほ場整備された畑地帯、諫早湾干拓地を中心に、県内でも有数の食糧供給力のある農業を目指します。林業では、担い手の確保と森林施業の集約化を支援し、県産材の生産量を増大させ地域の林業・木材産業の活性化を図ります。

- 取組例
- 受入団体等登録制度実施による新規就農者の確保
 - 畑地の基盤整備や水田の排水対策、集出荷施設の整備等農業生産体制の整備による生産性の向上と経営力強化
 - 施設園芸産地の維持・拡大
 - 諫早湾干拓地を中心とした環境保全型農業の推進と加工・業務用野菜の拡大
 - 県内でも有数の木材生産地と製材・加工施設を有する利点を活かした、木材需給マッチング体制の確立と流通拡大推進
 - 第10回全国和牛能力共進会で日本一に輝いた「長崎和牛」生産の強化
 - 新たな茶生産システムの導入等による県内最大の茶産地の維持・拡大



H 27 食べてみんな
枝共金賞喜々津昭
(安茂晴_No12)



牛舎えさやり



原料茶の共同摘採

水産業については、小長井地域で養殖され「第1回かき日本一決定戦」で初代王者となった「華漣」などに続くブランド化や加工による高付加価値化、漁業者の担い手育成等に取り組みます。

- 取組例
- 消費地の嗜好を意識した売れる商品づくりの推進
 - テーマパーク等と連携した産直販売の推進
 - 静穏な内湾域を利用した水産業の魅力などを伝える体験学習の実施
 - 幅広い年代にわたる漁業就業者の確保・育成



小長井地域の養殖牡蠣「華漣」

2 県央地域（諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町）

有明海では有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律に基づき国と連携し、漁場の環境保全や水産資源の回復等の対策に取り組めます。また、大村湾については、貧酸素水塊、底質悪化等への対策として、藻場、浅場、干潟などの漁場環境の改善のほか、栽培漁業や資源管理型漁業を推進し、水産資源の回復に取り組めます。

- 取組例
- 海の底質改善を図るための海底耕耘*や覆砂**の実施
 - アサリ、タイラギ等の増養殖技術の開発、実証
 - 漁場保全活動組織の育成・強化と藻場・浅場・干潟などの漁場保全活動の推進



干潟の耕耘作業（大村湾）

3 県央の特性を活かした 住みやすく、にぎわいあふれる地域づくり

主な取組

本地域には、V・ファーレン長崎のホームスタジアムである県立総合運動公園をはじめとするスポーツ施設が多数あり、これらを活用したスポーツツーリズムに取り組むとともに、恵まれた自然や歴史・文化、食などの地域の資源のさらなる磨き上げを行い、観光振興に取り組めます。

- 取組例
- 地域密着型チームを活用したスポーツツーリズムの推進
 - 地域密着型チームを広報媒体とした県政の広報・PR
 - 大型スポーツイベントの開催
 - 豊かな自然や歴史・文化などの地域資源を活かした観光プログラム開発の支援
 - グリーン・ツーリズムや民泊など体験型観光の推進
 - キリスト教関連文化財等を世界遺産と一体的に情報発信



県立総合運動公園

諫早湾干拓調整池については、汚濁負荷量削減目標(COD、全窒素、全燐)達成のために、各種水質保全対策を推進します。

- 取組例
- 諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に基づく、生活排水の高度処理化、工場・事業場からの排水対策、農地などの面源負荷対策



諫早湾干拓

諫早湾干拓事業で造成された広大な干陸地や調整池、堤防道路等の地域資源の利活用を促進します。

- 取組例
- 環境学習等を通じた県民への諫早湾干拓事業の理解促進
 - スポーツをはじめとした各種イベント等の取組を推進
 - 堤防道路等への植栽による良好な景観形成



堤防道路（雲仙多良シーライン）

***海底耕耘**: 浅海の海底を漁具によって耕すことにより、海底を柔らかくしたり、酸素を多く含む海水と混ぜることで、水産生物の生息環境を改善すること

****覆砂**: ヘドロなどが発生し、底質が悪化した底面を砂等で覆うことによって、海底や湖底などの底質を改善すること

大村湾については、その親水性や豊かな自然を活かして、交流や環境学習等の場として活用を図ります。また、水質環境基準の達成を目指し、各種水質保全対策を推進します。

- 取組例
- 再生砂を活用して造成した浅場の親水の場としての活用
 - 大村湾流域別下水道整備総合計画に基づき、大村湾南部浄化センターの高度処理化



大村湾南部浄化センター

市街地再開発事業等の推進や県民市民の知の拠点として整備を予定している県立・大村市立一体型図書館の整備等を通して、にぎわいの創出を目指します。

- 取組例
- 諫早駅東地区第二種市街地再開発事業への支援
 - 諫早市栄町東西街区第一種市街地再開発事業への支援
 - 新大村駅(仮称)周辺土地区画整理事業への支援
 - 県立・大村市立一体型図書館の整備促進

国道34号大村～諫早間の拡幅などの幹線道路の整備によって移動時間の短縮を図り、長崎・島原半島・県北地域等との交通の結節点としての機能を向上させます。

- 取組例
- 国道34号大村～諫早間の4車線化の事業化促進
 - 島原道路、国道207号長田バイパスの延伸、県道久山港線、都市計画道路池田沖田線の整備推進
 - 東彼杵道路の早期実現に向けた取組



島原道路（諫早 IC 橋）

長崎空港の24時間化の実現などにより、ゲートウェイ機能の向上を図り、交流人口の拡大等につなげます。

- 取組例
- 夜間国際貨物便や旅客便等の誘致による長崎空港の24時間化を推進
 - 外国人観光客の増加に対応できる国際線ターミナルの拡充
 - 長崎空港とその周辺地域に商業・航空関連施設等を集積
 - 空港アクセス(二次交通)の整備



長崎空港

災害に強いまちづくりを推進するため、国及び諫早市と連携を強化し、本明川の総合的な治水対策を推進します。

- 取組例
- 本明川ダム建設事業及び本明川河川改修事業の推進



本明川ダム